

## 第六回 図書館史研究会 ニュースレター

### 第二回 運営委員会報告

1983年5月25日(月)午後6時より、水道橋「談話室滝沢」(東京)にて、第二回運営委員会を開催。出席は、鮎沢(JLA)、石井(東洋大)、小川(法政大)、河井(立教大)、阪田(ICU)、寺田(情報大)、常盤(独協大)、中林(国会)、藤野(情報大)、川崎(相山女学園大)。機関誌の発行と、夏期セミナーについて検討した。以下、項目別に報告する。

- (1) 機関誌発行 : 運営委員会の意を受けて構成された編集委員会(鮎沢、青木「同志社大」、石井、寺田、藤野)は、機関誌発行について日外アソシエーツと接触をもち、好意的かつ具体的な回答を得ている。しかし、詳細については運営委で多様な問題点が出された。編集委はさらにアソシエーツと細部について協議をつづけ、次回の運営委でその模様を報告することとなつた。

同時に、12月上旬の大会(於:関西)にあわせて、機関誌を発行することに決定した。投稿規定については別掲。

- (2) 夏期セミナー : 運営委員会の意を受けて構成された、東京のセミナー検討委員会(小川、河井、阪田、常盤、中林)、名古屋のセミナー実行委員会との間で数回の連絡・調整をおこなつた。実行委員会の構成は以下。

実行委員長	山口 源治郎(名大大学院)
実行委員・会計担当	加藤 三郎(名古屋市立図書館)
実行委員・会場担当	小木曾 真(名古屋市立図書館)
実行委員・庶務担当	中浜 美知子(愛知図書館)
	川崎 良孝

セミナーのプログラムについては、別掲資料参照。報告者、司会などについては、未決定の部分があるため、今回は割愛した。正式な開催要項、プログラム、申込方法などについては、6月中旬に出される次回ニュース・レターで扱う。

- (3) 会 勢 : 1983年4月25日現在の会員数は92名。  
 (4) 次回運営委員会 : 6月20日(月)水道橋「談話室滝沢」にて。午後6時より。

機関誌『図書館史研究』(仮称)投稿規定

(但し、創刊号に限る)

1. 投稿は会員に限る。
2. 原稿用紙は、コクヨ(横書き、B5版)の400字詰を使用する。
3. 論文は、400字詰原稿用紙に原則として50枚以内とする。
4. 原稿採択についての決定は、本会編集委員会がおこなう。
5. 掲載原稿は返却しない。
6. 原稿~~の~~切は8月10日(厳守)
7. 原稿送付先 : 〒305 茨城県筑波郡谷田部町春日1丁目2 図書館情報大学  
寺田光孝
8. 投稿者は、題名、要旨(400字×2)、枚数を、6月1日までに、上記寺田光孝宛にお送り下さい。

図書館史を考えるセミナー(第一回)

テ ー マ : 図書館史研究の現状と展望  
 日 時 : 9月4日(日), 5日(月)  
 会 場 : 桜華会館(名古屋市内)  
 定 員 : 先着順35名

プ ロ グ ラ ム

9月4日(日)	12:00-12:30	受 付	16:00-16:15	休 憩
	12:30-12:50	開会あいさつ	16:15-17:45	講 演
	12:50-16:00	<u>日本図書館史研究</u>	17:45-18:30	連絡など
	報告Ⅰ(45分)	明治 大正図書館史研究	18:30-20:00	夕食・懇親会
	報告Ⅱ(45分)	戦後図書館実践史		
	討 論(100分)			
9月5日(月)	8:00-9:00	朝 食	報告(90分)	
	9:00-11:30	<u>英国図書館史研究</u>	討 論(60分)	
	報告(90分)		15:00-15:30	コーヒーブレイク
	討 論(60分)		15:30-16:30	全体的討 論及び
	11:30-12:30	中 食		まとめ
	12:30-15:00	<u>米国図書館史研究</u>	16:30~	事務連絡・
				閉会あいさつ

- 1泊3食付で、参加費は約1,2000~1,3000円の予定。
- また、部分的な参加も可能。

(文責: 川崎良孝)